



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月12日

上場会社名 SDエンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4650 URL http://www.sugai-dinos.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉住 実 TEL 011-241-3951
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,711	—	2	—	△31	—	△65	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 28年3月期第1四半期 △64百万円（－％） 27年3月期第1四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△7.59	—
27年3月期第1四半期	—	—

（注）平成28年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	10,068	2,150	21.3	247.55
27年3月期	—	—	—	—

（参考）自己資本 28年3月期第1四半期 2,144百万円 27年3月期 一百万円

（注）平成28年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	13.40	13.40
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	0.00	—	8.86	8.86

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当6円70銭 記念配当6円70銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,200	—	120	—	50	—	△10	—	—
通期	8,800	—	460	—	320	—	280	—	31.22

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成28年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期、第2四半期（累計）の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）エムシーツ株式会社、除外 1社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P.3「2サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	8,727,000株	27年3月期	8,607,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	63,388株	27年3月期	64,788株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	8,582,812株	27年3月期1Q	8,491,678株

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、当第1四半期連結会計期間に子会社を取得したため、第1四半期連結会計期間から連結財務諸表を作成しております。なお、当第1四半期連結会計期間の末日をみなし取得日としているため、連結子会社の四半期損益計算書は連結していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
第1 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかな景気の回復基調が続いているものの、円安のマイナス影響や海外景気の下振れなど、不安定な要素も抱えつつ推移しました。

このような環境の下、「健康グループ」の経営理念であり、当社の経営の基本方針である「皆様の『けんこう(KENKOU)』をつくり、『えがお(EGAO)』と『かがやき(KAGAYAKI)』と『ありがとう(ARIGATOU)』を創造し続け、世界中に広めます。」の経営理念のもと、経営の効率化を図り、一層の収益力の強化に取り組んでまいりました。

前期はコスト削減・体質改善を中心とする「フェーズ1」を推し進め成果を上げほぼ終了し、今期は売上拡大・成長を主眼とする施策を推進する「フェーズ2」へと移行、セグメント横断的な施策として、再来場促進を狙いとしたスマホ用「ディノスアプリ」を最大限に活用するなど、顧客基盤強化施策を実施したほか、ポイントカード会員システムを一新し、従来できていなかったCRM(Customer Relationship Management)の強化推進を進めるべく準備に入っております。

また、電力料金値上げによる負担増を抑えるための施策として、従来より北海道内の自社ビルである大型複合アミューズメント施設を中心に、インバーター制御盤の交換や電球のLED化を進めてまいりましたが、今期も引き続き、一部店舗に省エネのための設備投資を順次実施しており、コスト削減に努めております。

平成27年5月12日に開示したエムシーツー株式会社の発行済全株式を健康コーポレーションから譲受けしたことに伴い、健康コーポレーション以外からのコールセンター事業などの通信事業、事務用品等の販売を行う「カウネット」事業、ソフトウェア販売事業及び介護事業を営むエムシーツー株式会社及びその子会社3社を譲り受けすることで、業容の拡大、ならびに既存事業との連携及び効率化を図りたいと計画しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億11百万円、営業利益は2百万円、経常損失は31百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は65百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	前年同四半期比 (%)
GAME事業部(千円)	550,955	—
フィットネス事業部(千円)	555,182	—
ボウリング事業部(千円)	244,130	—
施設管理事業部(千円)	254,343	—
(シネマ)(千円)	(193,119)	(—)
(その他)(千円)	(61,224)	(—)
その他(千円)	106,684	—
合計(千円)	1,711,296	—

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. 施設管理事業部の(その他)は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。
 3. 施設管理事業部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。
 4. 当第1四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(GAME事業部)

GAME事業部につきましては、平成27年5月に新規店舗として「ディノスパーク南福島店」を出店しました。また、ビデオゲームの「鉄拳7」、「Wonderland Wars」などのヒット作があったことや閑散期にクーポンを配布して再来場を促したことなどにより、売上高は5億50百万円となりました。

(フィットネス事業部)

フィットネス事業部につきましては、法人契約が増加したこと、オリジナル物販商品のラインナップ拡大や新燃焼系サプリ等の販売強化を推進しました。また、見学者の入会率アップや退会率の引き下げなどのKPIの改善をしたことなどにより、売上高は5億55百万円となりました。また、準備を進めてきた新有料プログラムFIVEの導入は7月1日から既存の国立店内で実験導入を開始いたしました。

(ボウリング事業部)

ボウリング事業部につきましては、前期から推進しているLTB(ボウリング教室)を強化し、トーナメント、リーグへ繋げ顧客の拡大を図りました。また、前期好評を得たDJで場内を盛り上げ、アルコール販売強化を目的としたイベントガール投入を継続し、「パーティ・ボウリング」を推進したことやシャンパン等高額商品の販売も試みました。さらには、マスキング広告の売り込みにも着手したことなどにより、売上高は2億44百万円となりました。

(施設管理事業部)

施設管理事業部につきましては、「シネマ」部門において、「セッション」、「シンデレラ」及び「ドラゴンボールZ 復活の「F」」等を上映し、売上高は1億93百万円となりました。「その他」に分類している賃貸施設管理部門においては、新たに室蘭の店舗の遊休スペースを他社のカラオケ店に賃貸し(平成27年5月)、売上高は61百万円となりました。

(その他)

その他のカフェ事業等につきましては、利用料金の改定、新しい飲食メニューの導入や各種企画開催等の施策を実施しました。また、オンラインゲームの新タイトル導入によるコンテンツの強化、それに合わせたゲームパック料金サービスの開始により、売上高は1億6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末における総資産は100億68百万円、負債は79億18百万円、純資産は21億50百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間は、連結初年度にあたるため、前期末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」にて公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期累計期間において、新たに取得したエムシーツー株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、エムシーツー株式会社の取得により同社の子会社である3社(ITグループ株式会社、ITネクスト株式会社及びIT Telemarketing株式会社)についても連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,132,095
売掛金	229,477
商品及び製品	38,951
原材料及び貯蔵品	76,375
その他	239,918
貸倒引当金	△1,038
流動資産合計	1,715,779
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	3,095,404
土地	2,670,817
その他(純額)	876,195
有形固定資産合計	6,642,417
無形固定資産	
のれん	155,554
その他	50,704
無形固定資産合計	206,259
投資その他の資産	
差入保証金	1,166,466
その他	264,213
投資その他の資産合計	1,430,679
固定資産合計	8,279,356
繰延資産	73,518
資産合計	10,068,655
負債の部	
流動負債	
買掛金	250,610
短期借入金	20,000
1年内償還予定の社債	878,800
1年内返済予定の長期借入金	656,975
未払法人税等	11,384
ポイント引当金	8,250
その他	1,418,458
流動負債合計	3,244,477
固定負債	
社債	2,462,600
長期借入金	1,487,445
資産除去債務	140,799
その他	582,779
固定負債合計	4,673,624
負債合計	7,918,102

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	139,108
資本剰余金	1,845,726
利益剰余金	162,717
自己株式	△14,279
株主資本合計	2,133,272
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	11,424
その他の包括利益累計額合計	11,424
新株予約権	5,856
純資産合計	2,150,553
負債純資産合計	10,068,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,711,296
売上原価	300,295
売上総利益	1,411,001
販売費及び一般管理費	
給料	362,413
退職給付費用	5,321
地代家賃	282,324
その他	758,576
販売費及び一般管理費合計	1,408,635
営業利益	2,365
営業外収益	
受取利息	606
受取配当金	308
受取保険金	2,020
その他	1,254
営業外収益合計	4,190
営業外費用	
支払利息	18,582
その他	18,999
営業外費用合計	37,582
経常損失(△)	△31,026
特別損失	
減損損失	9,673
特別損失合計	9,673
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,699
法人税、住民税及び事業税	6,362
法人税等調整額	18,408
法人税等合計	24,770
四半期純損失(△)	△65,470
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△65,470

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△65,470
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,269
その他の包括利益合計	1,269
四半期包括利益	△64,201
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,201
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は、平成27年7月1日開催の取締役会において、株式会社フォーユーの発行済全株式を取得することを決議し、同日付で取得いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社グループは、GAME事業部(大型複合施設併設大型店舗及び中規模単独店舗のディノスパークの運営)、フィットネス事業部(フィットネスクラブ等運営)、ボウリング事業部(ボウリング・ビリヤード・ダーツ及びゴルフバー等を大型複合施設の中で運営)、施設管理事業部(シネマコンプレックスの運営、並びに土地及び建物等の賃貸)、その他(ネットカフェ等運営)を運営しております。

そのような中、介護事業及び通信事業を営む株式会社フォーユー及びその子会社1社を取得することで、業容の拡大、ならびに既存事業との連携及び効率化を図りたいと計画しております。

代表取締役の松平雄一氏は、理学療法士の資格を取得し、現在介護事業の改革に着手中であり、そのノウハウの蓄積は、当社グループ内で現在営む介護事業にも好影響を与えるとともに、今後の介護事業の拡大に期待できます。

(2) 株式取得の相手先の名称

松平雄一

(3) 買収する会社の名称、事業内容、規模

- ① 名称 株式会社フォーユー
- ② 主な事業内容 介護事業及び通信事業等
- ③ 規模(平成26年10月期)

資本金 3,000千円

売上高 412,839千円

(4) 株式取得の時期

平成27年7月1日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ① 取得株式数 60株
- ② 取得価額 60,000千円
- ③ 取得後の持分比率 100.0%

(6) 取得資金の調達

第2回新株予約権の行使による増資資金により充当しました。

(新株予約権の行使による増資)

当社が発行しました第2回新株予約権につき、平成27年7月1日から平成27年8月11日までの間に、以下のとおり行使されております。

平成27年2月12日決議分 新株予約権

- (1) 行使新株予約権個数 2個
- (2) 交付株式数 20,000株
- (3) 行使価額総額 12,990千円
- (4) 未行使新株予約権個数 172個
- (5) 増加する発行済株式数 20,000株
- (6) 資本金増加額 6,518千円
- (7) 資本準備金増加額 6,518千円